

思い込みと、決めつけが苦惱を生む

◎『何をしても上手く行かないのが私の人生』と思って、生きているのは辛いでしょう。私は『娑婆世間』で生きています。『娑婆』とは、梵語(インドの古語)『サハーラ(堪忍土)』の音訳で、「思い通りにならない世界』です。『世間』は、比較される世界のことです。「他の人と比べて貴方は」と比較され、私も損得や優劣を決め、思い通りにならない事を思い通りにしようとして苦惱します。

1 お釈迦様は『人生は苦(思い通りにならない)なり・生(も苦なり・老(も苦なり・病(も苦なり・死(もまた苦なり)なり・死(はづく) = 生・老・病・死の四苦と、怨憎会苦・愛別離苦・求不得苦・五蘊[色(肉体)・受(感受)・想(知覚)・行(意志)・識(知識)]盛苦の八苦』。四苦八苦 = もんもん苦勞すること。

2 善導大師の『觀無量寿經疏』に『二河白道』 = 1人の旅人が西に向かって百里(約4百歩)行くと、2つの河を見つけた。火の河(怒りの心)が南に、水の河(欲の心)が北にあり、中間に巾四五寸(約15センチ)の白い道があり、水と火が絶えず白道の上を覆っている。旅人の後ろからは群賊・悪獸(人間の苦惱)が襲いかかり、絶体絶命の危機です。その時、旅人の後ろから『白道を通り西へ行け』と、お釈迦様の声がし・白道の西の方向から『こちへおいで』と阿弥陀仏が手招きをしている。1歩を踏み出す決心は、『呼ぶ声』と『勧める声』で、それが『お念佛に出遇う』ことです。が、踏み出せないのは私の欲や怒りです。

3 数年前、『世界に一つだけの花=ナンバー1よりもオンリーワン』という歌がヒットしました。仏教は『人と比べなくとも貴方は貴方のままで良い。世界中で唯一つの自分の命だと頷けたら、歳を取っても・病気になっても精一杯に生きられる』と説きます。お念佛の『念』は、『今に心』と書きます。

4 親鸞聖人は『念佛者は無碍の一滴なり』と言われました。『何事も全て阿弥陀仏から与えられたものだ』と考え、自分の今の状況を、そのまま受け取らせて頂くのが『念佛者』です。世間の常識がオカシイと考え、少し変人扱いされてエエと、今の私にシッカリと目を向け、ヤル氣・根氣を出して行きましょう。